令和6年度 第1回宇和島市水道事業経営審議会

開催日時	令和7年2月19日(水) 13:30～
開催方法	柿原浄水場 2階大会議室
定足数	定数10名中7名出席 ※ 過半数の出席により成立
議 題	① 第7次整備事業 ② 令和5年度決算の状況 ③ 宇和島市水道ビジョン ④ 宇和島市水道事業経営戦略

議事(説明事項)の概要

議題① 第7次整備事業

▷ 平成21年～令和5年度の実績

施設・整備	46億3,500万円	水源・浄水施設の更新、耐震化など
管路	63億7,400万円	82.5 km更新
離島整備	19億3,500万円	海底送水管5.0 km更新、陸地部3.1 km更新

▷ 主な質疑応答

計画期間15年が適切かとの質問をいただきました。7次整備事業では、宮下浄水場更新工事等の大規模事業を考慮し、事業期間を15年としたこと、8次整備事業は10年間の計画であることを説明しました。

議題② 令和5年度決算の状況

▷ 業務量

① 給水人口	68,320人	-1,493人	-2.1%
② 有収水量	7,762千m ³	-177千m ³	-2.2%

▷ 損益計算書

① 収益	24億9,783万円	-417万円	-0.2%
② 費用	22億6,279万円	-916万円	-0.4%
③ 純利益	2億3,504万円	+499万円	+2.2%

▷ 貸借対照表

① 資産	190 億 534 万円	+14 億 6,070 万円
② 負債	87 億 5,258 万円	+11 億 4,814 万円
③ 資本	102 億 5,276 万円	+3 億 1,256 万円

▷ 純利益と内部留保資金の推移

① 純利益	235,047 千円	+4,993 千円	+2.2%
② 内部留保資金	1,583,641 千円	-616,944 千円	-28.0%

▷ 主な質疑応答

水道事業経営に係る課題があるかとの質問をいただきました。

人口減少に伴う収入減少が続く一方で、固定費の削減は難しく、今後は料金改定が必要となることを説明しました。

議題 ③ 宇和島市水道ビジョン

▷ 水道ビジョンとは

宇和島市水道ビジョンは、健全で効率的な水道事業運営を行いながら、安全でおいしい水を供給するという水道事業者の責務を果たすため、事業運営の課題を明らかにしながら、その対策や今後の進むべき方向性を示すものです。

▷ 改定に係る経緯について

平成 21 年度の策定から 15 年が経過し、水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、人口減少に伴う料金収入の減少を踏まえた安定経営維持のための財政健全化、頻発する災害に備えた危機管理対策、老朽施設の更新や耐震化整備など多くの課題に直面しています。このような状況を踏まえ、現行水道ビジョンを評価し、水道事業の現状と計画の方向性を確認する改訂を行うものです。

▷ 改定内容

基本理念である「命の水、育み未来の安心を」を継承し、水質安全対策、重要施設の耐震化、老朽管路の更新、災害時応急給水対策等を目的とした水道施設・管路の整備に継続して取り組みます。

	【現行】 平成 21 年度策定	【改定】 令和 6 年度改定
計画期間	平成 21 年度～ 令和 5 年度	令和 6 年度～令和 15 年度
総事業費	110 億円（第 7 次整備）	60 億円（第 8 次整備）
安心	<ul style="list-style-type: none"> ●水安全計画を策定、水質管理体制を強化 例) 浄水場に濁度計を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ●水質管理・監視をさらに強化 例) 有機フッ素化合物の監視強化
安定	<ul style="list-style-type: none"> ●浄水場・管路の耐震化 例) 施設：浄水場耐震補強・建替 管路：市立宇和島病院直送管新設 ●災害対策の強化 例) 耐震性貯水槽、宮下浄水場自家発電 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き更新・整備を進める 例) 施設：津島・宇和海地区中央監視 管路：市立宇和島病院連絡管整備 ●災害に備えた施設整備を進める 例) 浄水場・ポンプ場 の停電・浸水対策
持続	<ul style="list-style-type: none"> ●適正な収支バランスでの運営に努める 例) 業務の効率化・コスト縮減を継続 ●技術の継承に努める 例) 職員研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●業務の効率化・コスト縮減を継続 ●水道料金の改定を検討

▷ 主な質疑応答

① 管路の耐震化率の目標値について質問をいただきました。

令和 5 年度の基幹管路の耐震化率は約 20%、8 次整備事業の最終年度となる令和 15 年時点で約 30%を目標としていることを説明しました。補助制度の有効利用、漏水発生路線の更新を急ぐなど、優先順位を付けながら工事を進める考えを説明しました。

② 整備状況の市民周知方法について質問をいただきました。

8 次整備計画のなかで、宮下浄水場から市立宇和島病院への連絡管を整備予定であることを説明しました。同整備のなかで、災害発生時の給水拠点を整備した際には、広く市民周知予定であることを説明しました。

議題 ④ 宇和島市水道事業経営戦略

▷ 経営戦略とは

経営戦略とは、「宇和島市水道 整備事業計画」と「宇和島市 水道ビジョン」をつなぐ役割をもち、財政的な裏付けによる安定経営のための基本計画です。このたび改定する経営戦略は、主に第 8 次整備事業計画を推進していくために必要な財源の確保などについて記載しています。

▷ 経営戦略の改定

(1) これまでの沿革

平成 28 年度 経営戦略策定

令和 2 年度 一部見直し 平成 29 年度から令和 5 年度までの 7 年分

令和 5 年度 一部見直し 令和 6 年度分を加筆修正

令和 6 年度 改定 令和 7 年度から 16 年度までの 10 年分

(2) 令和 6 年度改定の主な工程

第 8 次整備事業計画期間中の投資財政計画を策定。

将来の収支予測をもとに、料金改定の時期と改定率を試算。

令和 7 年 2 月、水道局ホームページにて公表。

▷ 主な質疑応答

① 15%の改定率が適正かとの質問をいただきました。

今後 10 年間の事業量に合わせ、5 年毎を基本とした料金値上げは必要であるものの、市民生活や企業活動へ影響することを考慮し、期間延伸や改定率を抑えるなど、適切に水道料金値上げを検討することを説明しました。

② 5 年よりも短い期間で、徐々に改定する案はないかとの質問をいただきました。

日水協の水道料金算定要領に「3～5 年毎」の見直しが示されており、当市では、現時点で 5 年毎の改定を想定していることを説明しました。

③ 水道は身近で関心の高いインフラだが、水道事業の説明には専門用語も多い。市民目線で、分かりやすい市民周知に努めてほしいとのご意見をいただきました。

料金改定については、市民全員に影響するものであり、わかりやすい広報に努める旨を説明しました。